

健やかな体を育む

体力の向上と健康の保持増進

子どもたちの健康の保持増進、生活習慣の向上を図るため、生涯にわたって運動に親しむ資質・能力を育み、運動習慣の確立を目指すとともに、組織的な取組の中で健康教育を充実させ、食育を推進していきます。

1 運動やスポーツに親しむ資質・能力の育成

学校体育

運動部活動

体育・保健体育の授業の充実

- 生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成
 - ・「体育が苦手な児童生徒のための授業づくり」を重視
- 教員の資質向上と授業の工夫改善
 - ・学習内容の確実な習得
 - ・学びの質の向上
 - ・体育（運動）と保健との一層の関連



対話による深い学び

運動部活動の適切な運営と指導

- 豊かな人間性を育むバランスのとれた運営と指導
 - ・協調性、責任感、連帯感の育成
 - ・主体的・対話的で深い学びにつながる指導の工夫
 - ・練習時間や休養日の設定等、発育・発達段階に応じた適正な指導
 - ・健康・安全に留意した適切な指導
- 運動部活動指導者（教員）の育成
 - ・科学的・合理的な指導方法の普及
- 運動部活動の指導体制の充実
 - ・地域のスポーツ指導者等の人材活用
 - ・部活動指導員の配置促進



小学校における運動習慣の確立

- 子どもを運動（遊び）好きにするための取組の推進
 - ・各校の「体力向上プラン」の工夫改善
 - ・「健やかタイム」等の体力づくりの推進
 - ・チャレンジランキングへの参加促進等
- 体育科の学習を核とした運動遊びの促進
 - ・「体力向上のための知恵袋」の活用
- 家庭・地域との連携

県総合教育センターHPIに掲載



汗をかかまで運動遊び



2 現代的健康課題への対応

学校保健

保健教育の充実

- 教職員対象の講習会・研修会の開催
 - ・メンタルヘルスに関する課題
 - ・アレルギー疾患等、保健管理の充実
- 喫煙、薬物乱用に関する指導
- 各教科と連携した性に関する指導の充実
- がん教育の推進
 - ・外部講師の活用、地域の関係機関と連携した取組の推進
- 歯、口腔の健康づくりの推進

組織的な取組

- 学校保健委員会の活性化
 - ・学校医、家庭、地域、関係機関の理解と協力
- 学校保健計画、保健室経営計画に基づく組織的な対応
- 様々な健康課題を抱える児童生徒が、課題解決に向けた支援を受けるための校内体制の確立
 - ・体育（運動）と保健との一層の関連

3 学校における食育の推進

食育

食に関する指導体制の充実

- 学校教育活動全体で食育の推進
 - ・全体計画と年間指導計画による指導
 - ・体育(保健体育)科、家庭(技術家庭)科、社会科、理科、道徳科、特別活動、総合的な学習の時間での指導
- 毎月19日「食育の日」の取組の充実
- 家庭・地域と連携した食育の推進（情報の収集・発信）
- 「ぐっすり睡眠・しっかり朝食」生活習慣の改善
 - ・食に関する指導教材DVDの活用



学校給食を生きた教材として活用

- 給食の時間における食に関する指導
- 健康によい食事のとり方
 - 食事と文化
 - ・郷土料理や食文化の理解
 - ・和食の継承
 - 勤労と感謝の気持ち
 - ・当番活動の工夫・生産者への感謝
 - 教科等との関連を図る

社会の授業で学習した滋賀県の食べ物だね

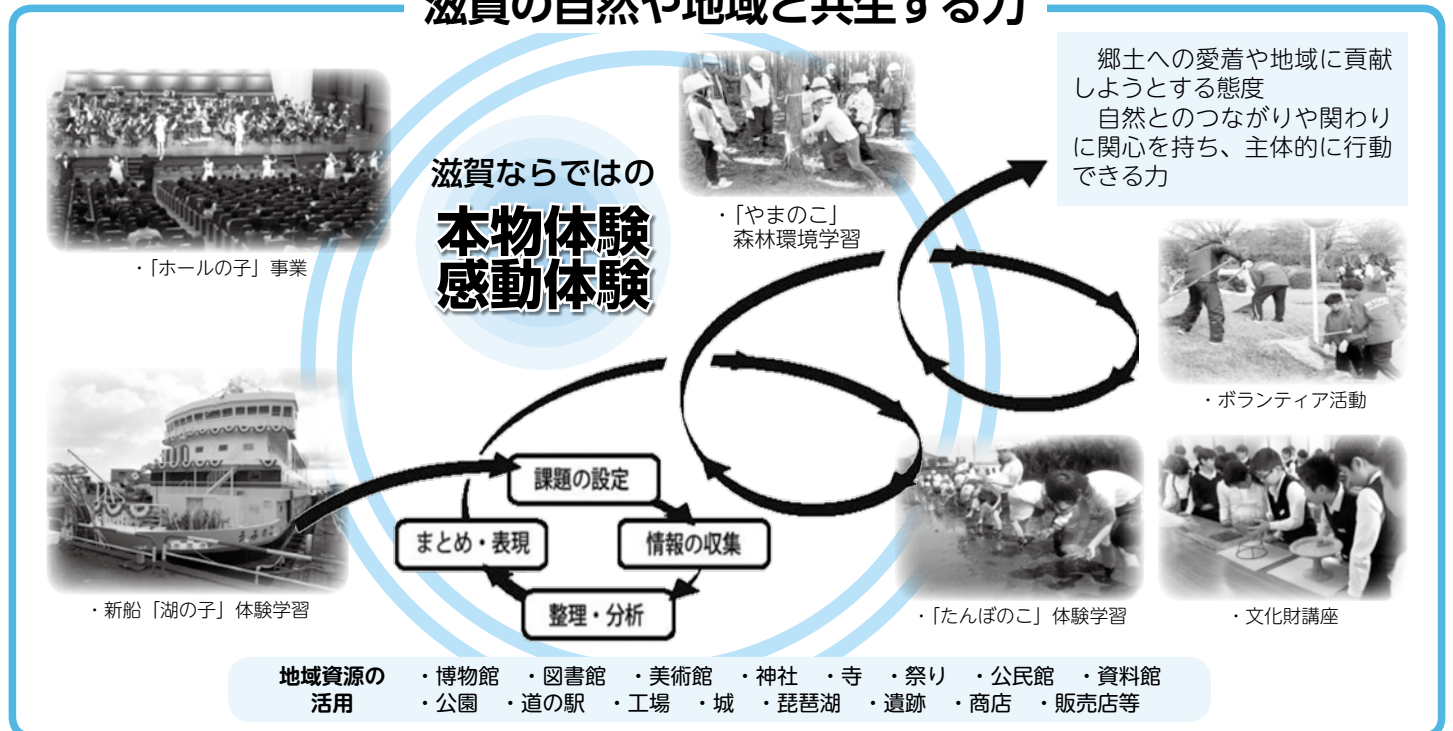


滋賀の自然や地域と共生する力を育む

学びにつなぐ体験学習の推進

豊かな人間性や人間関係を築く力を培うため、感動、本物、仲間などが実感できる体験活動を意図的、計画的に推進し実践的な環境教育を充実させることで、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動できる人育てを目指します。

滋賀の自然や地域と共生する力



フローティングスクールが生まれ変わります (H30年5月新学習船就航)

フローティングスクールの教育目標

各学校の教育目標

目指す児童の姿

フローティングスクールのテーマ

(テーマ例) ※H28・29年度研究航海フローティングスクールのテーマより
○びわ湖が育む命について考えよう ～生き物がすみやすいびわ湖を目指して～
○「イヤーン!びわ湖!!」母なる湖を自慢しよう
○考えよう!「理想のびわ湖」～未来へ伝えよう 世界に誇る古代湖 びわ湖～

探究的・協働的な学び

新ホームページの活用

乗船前の学習

乗船中の学習

乗船後の学習

本物に触れる採捕体験
身に付けた資質・能力

ICT機器の活用

これまでの学習	新学習船での学習		
「一斉学習」生活班ごとに、全ての児童が同じ内容をローテーションで学習する。	「課題別、探究的な学習」学習班（課題別グループ）ごとに、自分たちの課題追究のための調査・観察・実験等の学習活動に取り組む。		
①プランクトンの観察 ②びわ湖の漁法 ③湖底の観察	Aグループ	Bグループ	Cグループ
	課題別グループごとに、自らの課題を追究するための調査・観察・実験等の学習活動に取り組む。		
	電子黒板やタブレット/パソコン等を活用し、グループで学習した成果を交流する。		

フローティングスクール学習
(乗船前から乗船後までを含めた一連の学習)

びわ湖について学び、考え、伝え合い、びわ湖と自分のつながりを見つめる子

共生社会に向けた多様なニーズに対応する教育の推進

「地域で共に生きる」特別支援教育の推進

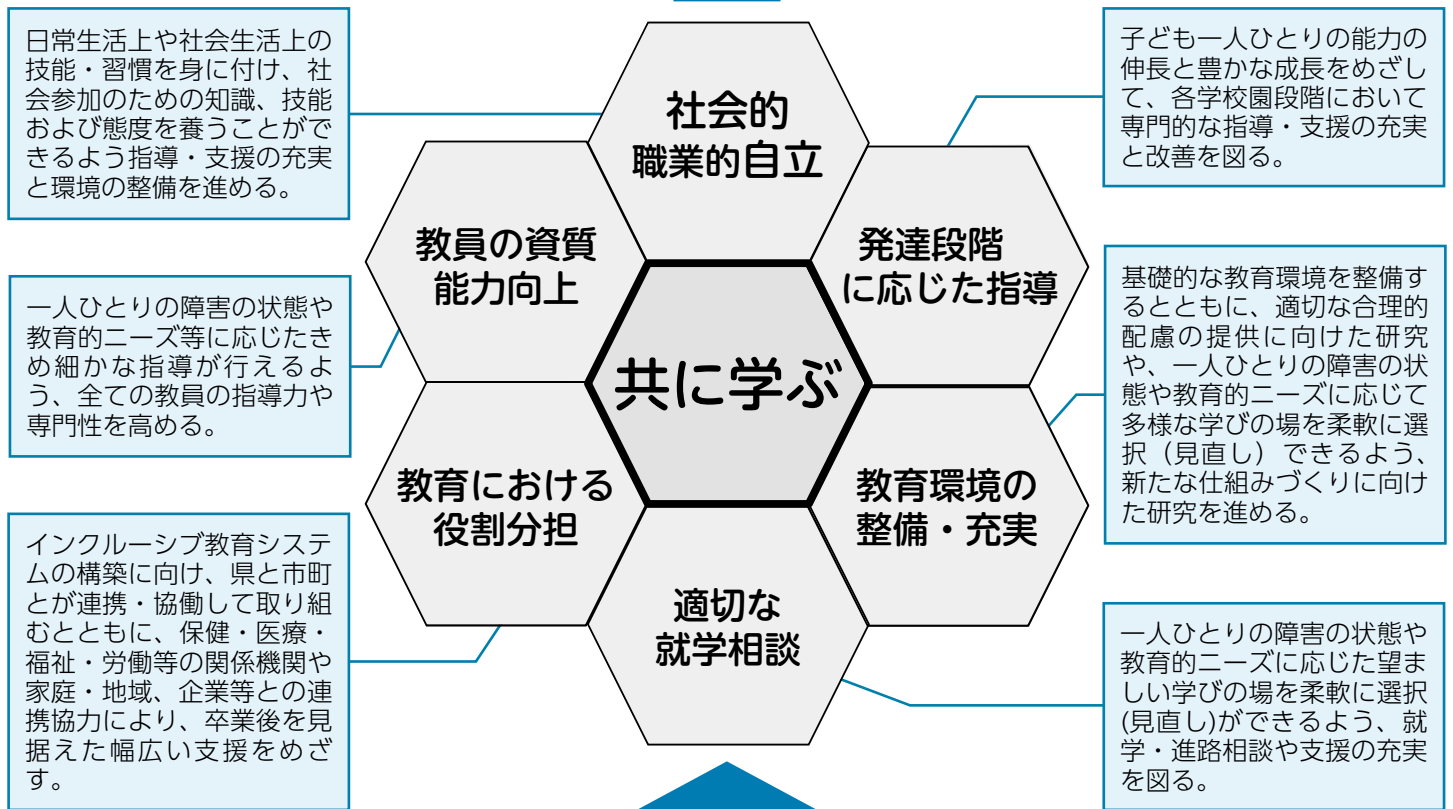
障害のある子どもが十分な教育を受けられるよう教育の充実を図るとともに、障害のある子どもと障害のない子どもが共に学び合うことにより「地域で共に生きていくための力」を育て、「共生社会の形成」をめざします。

地域で共に生きていくための力の育成

多様な個人が能力を発揮しつつ自立して共に社会に参加し支え合う

共生社会の形成

インクルーシブ教育システムの構築と新しい学校づくり



特別な教育的支援を必要とする児童生徒の増加

社会構造の変化

医療の進歩、職業構造の変化、価値観の転換 等

本県特別支援教育のめざす姿

- 障害のある子どもも障害のない子どもも、地域で共に生きていくために必要となる社会生活能力を身に付け、社会的・職業的に自立し社会参加できる。
- 障害のある子ども一人ひとりが、義務教育の段階においては「地域で学ぶ」ことを基本とし、就学後の成長や学習課題の進展等により、その教育的ニーズに応じた学びの場を柔軟に選択することができる。
- 「(地域で)共に学ぶことにより、様々な力を持つ全ての子どもたちが、障害のあるなしにかかわらず、互いの違いやよさ等を認め合うことができ、地域社会の一員として心豊かに成長できる。『滋賀のめざす特別支援教育ビジョン(実施プラン)』より

多様な進路・就労の実現に向けた教育の推進

自己と社会をつなぎ未来を拓く系統的なキャリア教育の推進

社会人・職業人として自立できるようにするため、発達段階に応じた系統的なキャリア教育を展開し、体験活動や外部人材の活用等、地域や家庭、産業界と連携・協働した取組を推進します。

自分を社会に生かし自立して生きていく力を育む

目標をもった進学 社会での自己実現へ

